

現地情報連絡員(通称:リエゾン※)について

※リエゾン(liaison):フランス語で「組織間の連絡、連携」

○現地情報連絡員を派遣する目的

災害発生時に市町村へ中部地方整備局の職員を派遣して、市町村の被災情報の収集や中部地方整備局から災害対策資機材等の情報提供を行う事を目的とします。中部地方整備局では現地情報連絡員を通じて市町村との円滑な情報共有を図ることにより、市町村による迅速な災害復旧活動を支援します。

○現地情報連絡員の役割

1) 派遣先市町村の被災情報収集

- ・一般被害の状況(孤立集落の有無, 倒壊家屋数, 浸水範囲 … 等)
- ・公共土木施設の被災状況(道路崩壊箇所, 破堤箇所 … 等)
- ・交通規制など現地の状況(市道・町道の交通規制状況 … 等)
- ・気象状況(降雨状況 … 等) など

2) 中部地方整備局管理施設の被災情報などの提供

3) 中部地方整備局が保有する災害対策資機材に関する情報の提供

○現地情報連絡員を派遣する災害の目安

- ①震度5強以上の地震を観測し、甚大な被害の発生又は発生する恐れのある場合
- ②台風又は集中豪雨により大規模な浸水被害の発生又は発生する恐れのある場合
- ③国道、県道、市町村道が被災し、孤立集落が発生した場合
- ④土砂災害等による河道閉塞により、天然ダムが発生又は発生する恐れのある場合

現地情報連絡員の派遣状況



静岡県小山町への派遣
(平成22年9月8日発生災害)



平成20年8月末岡崎豪雨
時の愛知県庁への派遣

現地情報連絡員